

from Sapporo Maruyama Zoo
動物園からこんにちは

2006. 09. 20.

札幌市立伏見中学校
第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。今日はとても貴重な体験をしました。なんとアムールトラのタツオ君をさわったのです。彼が元気なときなら、3秒以内に幅崎は肉片になっていたはずですが、今日は、治療のため麻酔下だったのです。



アジア大陸の森林の王者トラはずばやい動きやからだの大きさ、ずるがしこさなどでライオンさえも上回る最強のハンターです。子育ての時に



外は単独で生活し、そのなわばりは数百km²に及ぶこともあります。動物園で目立つ縞模様が保護色となり獲物の目をくらますのですが、その立派な毛皮などが人々にねられるようになり、絶滅に危機のさらされています。



さて、上の3枚は、麻酔をかける作業です。直接さわることにはできない猛獣には吹き矢で麻酔の注射をします。3人の獣医さんは、前日から緊張モードでしたが、午後2時過ぎに無事麻酔がかかりました。ここからは、キーパーの共同作業です。最初に体重測定、全員で体重計に乗せませす。163kg ありました。思ったより軽いのですが、横たわっていると「タツオ」を見ると意外とスマートです。次に今回の目的の爪切りです。「タツオ」の前足の爪が肉球に食い込んでしまっていたのです。右の写真は前足の肉球のようすです。宿題の足の裏と比べて見てください。そして一番下



の後ろ足を押さえている指は幅崎の指です。もちろん作業中は獣医さんつきつきりです。わずか10分強、あっという間の作業、そしてすぐに蘇生が始まりました。チームワークですね。(食肉目ネコ科)



円山動物園のアムールトラ

ロシア、中国の北方の森林に生息し、ライオンとともにネコ科の最大の猛獣で、単独で暮らしている。野生での生息数は、400～500頭ともいわれている。動物園では馬肉・鶏肉を交互に5キロ程度給餌している。

★タツオみ平成9年4月名古屋東山生まれ。

★アイ♀平成14年7月16日ベルリンフリードリッヒフェルド生まれ。

飼育記録 22年1ヶ月(不詳)、20年7ヶ月(アメリカ)。

動物園では、秋に入り、再び小学校の遠足(現地学習)のシーズンとなり、多くの小中学生が動物を調べに来園します。しかし、走り回るだけで自分では不思議は発見できずに終わってしまう子も多いようです。それに集団で来るために園でも対応できないメニューがかなりあります。「となりの班が〇〇をするので、うちの班も〇〇をする。」という計画を組んでいませんか。人数オーバーでたぶん断られますよ。自分たちが本当に調べたいテーマを決めて質問したり調べる方法を相談するべきです。何回か伝えていますが、教えてもらえると思って動物園に行っても、大きなプラスにはなりませんよ。課題に対する答えを聞き出そうと思ってスタッフに質問するのも単なる迷惑ですね。学ぼうとする姿勢が大切ですね。では、また。